

12月1日：優良株に押し上げられ、VN指数は上昇

一日だけ下げた後、火曜日のVN指数は大型株が上昇を牽引し、0.58%高の1,008.87ポイントに値を戻した。

ホーチミン市場は売り買いまちまちで、上昇が221、下落が199だった。うち15銘柄が場中の最高値であるところのストップ高をつけた。

売買代金は前日取引からわずかに増加し、11兆6,800億ドン（5億420万USドル）、その半分が大型株で構成されるVN30構成銘柄に集中した。

VN30指数は1.08%上昇し、VN指数を大きく上回った。（構成銘柄のうち）18銘柄が上昇、7銘柄が下落した。

もっとも上昇したのは民間銀行セクターだった。サコムバンク（STB）が5.5%の大幅高、VPバンク（VPB）が4.4%高、テクコムバンク（TCB）が1.7%高、HDバンク（HDB）が1.4%高だった一方でエクシムバンク（EIB）が0.3%小幅安だった。

しかし国営銀行セクターは、売り買い交錯した。中堅の軍隊商業銀行（MBB）は2.5%高だった。一方でベトナムの預かり資産上位3行であるベトナム産業貿易商業銀行（CTG）が1.2%高、ベトナム投資開発銀行（BID）が変わらず、ベトナム外商銀行（VCB）はVN30銘柄の中で最も悪く1.1%安だった。

他の上昇銘柄は、トラック販売のホアンファイグループ（TCH）が5.4%高、農業輸出業者のタインタインコン・ビエンホア製糖（SBT）が2.5%高、乳製品最大手のベトナム乳業が1.4%高、食品コングロマリットのマッサングループ（MSN）が1.2%高であった。

ホーチミン市場で時価総額が最も大きい民間コングロマリットのビンググループ（VIC）が、1.1%高だった一方で不動産部門のビンホームズ（VHM）が0.8%高、小売部門のビンコムリテール（VRE）が0.2%高だった。

石油ガスの中では、エネルギー最大手のペトロベトナムガス（GAS）と電力発電のペトロベトナムパワー（POW）がともに変わらず対し、ガソリン販売のベトナム石油総公社（PLX）が0.4安だった。

下落銘柄では、大きく下がったのは建設会社の FLC ファロス建設 (ROS) が 0.9% 安、カンディエン不動産 (KDH) が 0.7% 安、IT サービス会社の FPT が 0.4% 安だった。

中小型株が上場するハノイ市場の HNX 指数は 0.83% 高だったが、非上場市場の UPCoM 指数は 1.36% 高だった。

ベトナム乳業 (VNM)、14 銘柄の組み入れの多くが優良株である VN ダイヤモンド指数の動きに連動する ETF である FUEVFNVD への買い圧力を伴い、外国人投資家は 3 市場 (ホーチミン、ハノイ、UPCoM) で合わせて 4,200 億ドン近く買い越しを続けた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。